

# ✦ 干布小学校だより

2月号 R6.2.26  
天童市立干布小学校  
校長 多勢 弘子

## 自分で学び方をみつける

～頼もしい人をめざして～

2月というのに、4月中旬の温かさが続き、花壇のチューリップがすっかり芽をだしました。昨年は昇降口前の桜が入学式前に満開時期を迎えましたが、今年はどうなるのでしょうか。そして、子供たちは将来、どんな課題に向き合うことになるのでしょうか。本校では、たとえ、どんな課題でも「私たちに任せてください。」と言える頼もしい人になってほしいと願い学校教育を進めています。

今年度は、6月号でもお伝えしたように、課題解決の方法を自分でみつける、という取り組みをしてきました。漢字や計算ドリルを終えた後は、ノートに書きこむ子供もいれば、タブレットで天童市が用意したドリルのほか、サイトで見つけたドリルを活用して学んでいる児童もたくさんいます。



かけ算した数 34,181  
努力の様子が視覚化されて励みに

先日、2年生の教室から英語の音が聞こえてきました。音声をたどると、なんと算数の時間に九九を英語で練習していました。すっかり九九をマスターした子供たちが英語で学ぶサイトをみつけて練習していたのです。衝撃でした。

私が小学生の頃はローマ字を4年生で習いましたが、今は3年生の教科書に出てきます。でも、子供たちは2年生です。授業で習っていません。しかも、タブレットの画面を見せてもらうと、数字がないので、音声で聞き分けて答えなければなりません。

ほかにも、外国では九九ではなくて、 $12 \times 12$ までであるからと広げて覚えようとしている子供や図形を見て九九を学ぶ子供など様々でした。



算数の問題が英語表記



学習の進度を記録する1年生

子供たちの様子を見て、学びの進度に学年はないのだと気づかされました。

また、これまでは九九ができれば、教師が次の問題を印刷して預け、できれば別のプリントというように教師が用意していました。

しかし、今はタブレットが入ったことで、子供たちが自分の学びたいことをさがして、見つけてできるようになったことは大変な強みだとも感じています。

「先生、次は何をすればいいですか？」

という受け身ではなく

「先生、これなら覚えやすいです！」

と、主体的に取り組み、

「どれどれ、見せて！」とか「こんなのも使えるよ」

と、仲間が集まってより良いものを見つけ出す。そんな雰囲気があれば、きっとこの子どもたちなら、将来「私たちに任せてください。」

そんな頼もしい声が聞こえてきそうです。

## 長い間、本当にお世話になりました。



### 交通指導員：鈴木さん

原町の一本杉前の交差点で14年間、子供たちの登校を見守っていただきました。子供たちからは安全だけでなく、「おはよう」のあいさつで元気もいただいていた。

朝からの猛暑で熱中症の心配された朝も、降り積もる雪

の朝も、風の強い朝も、いつも明るく子供たちを出迎えてくれました。本当にありがとうございました。



### 給食のソフトめん：鈴木製麺

昭和43年から学校給食用に提供され、愛され続けた「ソフトめん」が2月21日に最後の給食となりました。

実は今年度の干布小お好み献立として給食センターに要望したのは、他ならぬ「カレーうどん」。ところが、提供が決まった11月1日は、6年生が校外学習で食べられずとても残念な思いでした。

そして、ソフトめん給食が突然最後を迎えるという知らせを聞き、メニューを見たら、なんと「カレーうどん」。

子供たちは食べる前に写真を撮り、最後までかみしめて食べていました。

56年間、本当にありがとうございました。



## 主な行事予定

- 1日（金）安全点検
- 5日（火）朝会（歌）
- 14日（木）修了式 通知表配付 卒業式準備
- 15日（金）卒業証書授与式
- 16日（土）年度末・年度始め休業（～4/7(日)）
- 25日（月）PTA 会計監査 教育後援会会計監査
- 26日（火）春の四谷交歓会（～28日）



学校の様子は随時学校ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。  
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

